

地域情報通信基盤整備交付金事業事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業年度	平成21年度		事業完了日	平成23年1月31日
	総事業費	98,131千円		交付金額	24,532千円
	整備対象地域	鳥取市全域			
	事業の内容				
	<p>株式会社鳥取テレピアが運営するケーブルテレビ「いなばぴよんぴよんネット」は平成12年7月の開局以来、鳥取市の施策や事業の取組状況、各種行事、お知らせを紹介する行政広報番組、農業経営や技術情報、農家の話題などを紹介する農業専門番組、エリア内の特に中山間地域の暮らしや生活、風習、イベントなどを紹介する地域コミュニティ番組などを制作、放送している。</p> <p>テレビ放送のでデジタル化が進められ、鳥取市においてもNHK、民放のテレビ番組のほとんどがハイビジョンデジタル映像で放送されているなか、視聴者からいなばぴよんぴよんチャンネルの自主放送番組のハイビジョンデジタル化が求められていた。</p> <p>住民のニーズに答え、なお一層、地域に愛される番組づくりを進めるため、自主放送番組をハイビジョンデジタルで撮影、編集、録音、放送できる設備や機器を導入した。</p>				
C A T V	サービス開始日	平成23年4月1日			
	サービス形態	I R U			
	契約先	株式会社鳥取テレピア			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	H23年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	12,234	12,234	14,004	14,004
	加入世帯数	9,492	10,000	9,487	9,475
	加入率(%)	77.6	81.7	67.7	67.7

評価及び課題	<p>整備計画時と比較して、世帯加入率は横ばいの状態であり、計画目標の達成に至らなかった。エリアの大部分が中山間地域であり、高齢化や過疎化の影響が少なからずあったものの、そのような状況のなか適宜加入促進キャンペーン等を実施し結果として加入者の減少防止が図られたと考える。</p> <p>本格的な人口減少時代を迎え、各地方自治体が地方創生に取り組むなか、次世代STBをはじめ4K・8Kの超高精細映像テレビの導入等が中・長期的な検討課題となる。また、引き続き利用者の満足度を維持していくことが重要と考える。</p>
---------------	---